



駒工生に教わりながら本格的な紙飛行機を作る高遠中の生徒や保護者ら

長野日報

Nagano Nippo

ご購入ありがとうございます

9月7日(土)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2019

空にロマン 紙飛行機

駒工生が高遠中で制作指導

ドローンなど航空関連の課題研究をしている駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)情報技術科の3年生が6日、伊那市高遠中学校を訪れ、同日行われたPTA親子ふれあい講座の一つ「紙飛行機教室」で講師を務めた。本格的な紙飛行機のキットを用い、生徒や保護者ら約20人に制作指導。校庭に出る高く遠くへ飛ばし合い、空飛ぶ製品の魅力やものづくりの楽しさなどを伝えた。

竹内浩一教諭と3年生3人が訪問した。正確に折って左右対称にすることが「滞空時間をのばすためのポイント」と説明。「のりを塗るすぎでバランスが悪くなることもあります」と助言し、質問にも優しく丁寧に応じた。

割り箸と輪ゴムで飛ばす道具も作り、紙飛行機を持って全員で校庭へ。秋晴れの空に向かって飛ばし、滞空時間を競った。10秒近く飛び続ける紙飛行機も。高遠中2年の青木謙太郎さん(13)は「作ったのは小学校低学年以来だと思います。高く飛ばすとうれしい」と笑顔を見せた。

駒工生の1人、六波羅陽平さん(18)は「紙飛行機作りを通じて、空飛ぶもののかっこよさ、ロマンを再発見してくれれば」と願っていた。(鮎沢健吾)